

診療部

【腎臓内科】

『学会』

- | | | |
|------------------|--------|--|
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名 : ERA-EDTA 53th congress
日 : 2016年5月21日－5月24日
所 : Vienna, Austria
題 : Does hematuria at the time of recurrence after the clinical remission of IgA nephropathy influence the long-term renal prognosis? |
| 演 | 者 | : TAKAYUKI FUJII, Satoshi Suzuki, Mizuki Shinozaki, Kaiji Saito, Junya Koshizaka, Noriko Oka, Hiroaki Tanaka |
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名 : ERA-EDTA 53th congress
日 : 2016年5月21日－5月24日
所 : Vienna, Austria
題 : Efficacy of combination therapy with corticosteroid and cyclosporine as remission induction therapy for idiopathic membranous nephropathy with nephrotic syndrome |
| 演 | 者 | : HIROAKI TANAKA, Takayuki Fujii, Mizuki Shinozaki, Junya Koshizaka, Kaiji Saito, Noriko Oka, Satoshi Suzuki |
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名 : 第126回千葉県腎疾患懇話会
日 : 2016年6月2日
所 : ホテルポートプラザちば
題 : 膜性腎症に合併したANCA関連腎炎の一例
者 : 越坂純也 |
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名 : 第61回日本透析医学会総会
日 : 2016年6月9日－6月12日
所 : 大阪国際会議場
題 : インスリン非使用糖尿病合併透析症例に対する血糖管理の実践
自己血糖測定からの解析 |
| 演 | 者 | : 藤井隆之、椎名由美子、高野弘栄、高橋弥生、坂井晴美、齋藤快児、越坂純也、篠崎みずき、岡紀子、田中宏明、鈴木理志 |
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名 : 第61回日本透析医学会総会
日 : 2016年6月9日－6月12日
所 : 大阪国際会議場
題 : エコーを併用したVAIVTを考える |
| 演 | 者 | : 岡紀子、越坂純也、田中茂、齋藤快児、篠崎みずき、田中宏明、藤井隆之、鈴木理志 |
| 学
開
場
演 | 会
催 | 名 : 第61回日本透析医学会総会
日 : 2016年6月9日－6月12日
所 : 大阪国際会議場
題 : 高Ca血症を機にサルコイドーシスを診断した維持透析患者の1例 |
| 演 | 者 | : 篠崎みずき、藤井隆之、齋藤快児、越坂純也、岡紀子、田中宏明、鈴木理志 |

2016年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 59 回日本腎臓学会総会 日 : 2016 年 6 月 17 日 - 6 月 19 日 所 : パシフィコ横浜 題 : 腎機能正常例では 2 年以内、腎機能低下例では 1 年以内の蛋白尿寛解が IgA 腎症の良好な腎予後の予測因子である 者 : 藤井隆之、星野純一、臼井丈一、鈴木理志、乳原善文、山縣邦弘
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 59 回日本腎臓学会総会 日 : 2016 年 6 月 17 日 - 6 月 19 日 所 : パシフィコ横浜 題 : ネフローゼ症候群を伴う原発性膜性腎症 155 例に対する寛解導入療法と 1 年後の寛解に関連する因子の検討 者 : 田中宏明、藤井隆之、篠崎みずき、越坂純也、岡紀子、齋藤快児、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 59 回日本腎臓学会総会 サテライトシンポジウム 日 : 2016 年 7 月 2 日 所 : ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 題 : IgA 腎症の長期腎予後改善を目指した治療目標と治療法の選択 者 : 藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 46 回日本腎臓学会東部学術大会 日 : 2016 年 10 月 8 日 所 : 京王プラザホテル 題 : 電子顕微鏡像で診断した細線維性糸球体腎炎の 1 例 者 : 寺崎紀子、山内伸章、越坂純也、齋藤快児、篠崎みずき、森本真有、田中宏明、藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 46 回日本腎臓学会東部学術大会 日 : 2016 年 10 月 8 日 所 : 京王プラザホテル 題 : 膜性腎症に合併した ANCA 関連腎炎の一例 者 : 越坂純也、篠崎みずき、山内伸章、齋藤快児、森本真有、寺崎紀子、田中宏明、藤井隆之、臼井丈一、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉県透析セミナー 日 : 2016 年 10 月 22 日 所 : クロス・ウェーブ幕張 題 : CKD 診療におけるクエン酸第二鉄 (リオナ錠) の使用経験 者 : 藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 7 回臨床懇話会 in 佐倉 日 : 2016 年 10 月 27 日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : 当院の急性腎障害 (つづきの話) 者 : 田中宏明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 7 回臨床懇話会 in 佐倉 日 : 2016 年 10 月 27 日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : 私の ADPKD 診療 者 : 寺崎紀子

2016年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 佐倉地区高血圧フォーラム 日 : 2016年10月28日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : より良質な高圧を目指して 腎臓内科の立場から 者 : 鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : ASN KIDNEY WEEK 2016 日 : 2016年11月15日－11月20日 所 : Chicago, USA 題 : Association of recurrent proteinuria related to IgA nephropathy with mesangial hypercellularity score and grade of proteinuria at diagnosis. 者 : Takayuki Fujii, Satoshi Suzuki, Mizuki Shinozaki, kaiji Saito, Mayu Morimoto, Noriko Terasaki, Hiroaki Tanaka
学 開 場 演 演	会 催	名 : 多種職連携アプローチセミナー in 幕張 日 : 2016年11月19日 所 : 千葉市幕張 題 : 老年内科医からみた大腿骨近位部骨折 者 : 山内伸章
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第44回千葉県透析研究会 日 : 2016年11月27日 所 : 京葉銀行プラザ 題 : 維持透析中の高カルシウム血症を契機に発見されたサルコイドーシスの1例 者 : 篠崎みずき
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第127回千葉県腎疾患懇話会 日 : 2016年12月1日 所 : ホテルポートプラザちば 題 : 電子顕微鏡像にて診断できた細線維性糸球体腎炎の1例 者 : 寺崎紀子
学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉西部腎疾患・透析セミナー 日 : 2017年1月17日 所 : 鎌ヶ谷総合病院 題 : CKD診療におけるクエン酸第二鉄（リオナ錠）の使用経験 者 : 藤井隆之
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第40回IgA腎症研究会 日 : 2017年1月28日 所 : JPタワー ホール&カンファレンス 題 : IgA腎症－CKD stageG4におけるステロイドパルス療法の有効性 者 : 今井恵理、金子修三、臼井丈一、山縣邦弘、星野純一、乳原善文、高市憲明、藤井隆之、鈴木理志
学 開 場 演 演	会 催	名 : 市民公開講座 日 : 2017年2月4日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : もっと知ろう腎臓病－心血管病と骨との深いつながり－ 者 : 藤井隆之

学 開 場 演 演	会 催	名 : 市民公開講座 日 : 2017年2月4日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : 知って得する生活習慣病 者 : 山内伸章
学 開 場 演 演	会 催	名 : Inba IBS Meeting 日 : 2017年3月14日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 題 : 腎臓内科でみる便秘症 者 : 田中宏明
学 開 場 演 演	会 催	名 : パーサビブ発売記念講演会 in Chiba 日 : 2017年3月23日 所 : マンハッタンホテル幕張 題 : 新規Ca受容体作動薬エテルカルセチドの使用経験 者 : 藤井隆之

『講演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 八街市CKDフォーラム 日 : 2016年4月8日 所 : 八街市角屋 名 : 私が佐倉で学んだ腎臓病27年間 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 印西地区医師会学術講演会 日 : 2016年6月23日 所 : ホテルマークワンCNT 名 : 腎疾患医療の真実を暴く 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 鎌ヶ谷市医師会学術講演会 日 : 2016年7月26日 所 : 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター 名 : CKD～川の流れのように～ 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 佐倉地区糖尿病学術講演会 日 : 2016年9月8日 所 : ウィシュトンホテルユーカリ 名 : うちも…糖尿病性腎症、やっています 者 : 鈴木理志
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 印旛郡医師会印西地区学術講演会 日 : 2016年10月27日 所 : ホテルマークワンCNT 名 : CKD診療の各論 ～腎炎・ネフローゼを中心に～ 者 : 藤井隆之

2016年度 学術実績

- 講演会名 : 夷隅・勝浦 CKD セミナー
開場催日 : 2016年11月11日
場所 : サヤン・テラス Hotel&Resort 勝浦
講演演名 : もうじき10年CKD 昔も今も佐倉のこだわり
講演演者 : 鈴木理志
- 講演会名 : 第10回佐倉市薬剤師セミナー
開場催日 : 2016年12月7日
場所 : 佐倉市健康管理センター
講演演名 : CKD診療の実際
講演演者 : 藤井隆之
- 講演会名 : 山武郡市医師会学術講演会
開場催日 : 2017年1月25日
場所 : 蓬莱閣 東金
講演演名 : CKD、透析回避も夢じゃない-時代の進歩であの手もこの手も……
講演演者 : 鈴木理志
- 講演会名 : 船橋内科医会
開場催日 : 2017年2月15日
場所 : 船橋グランドホテル
講演演名 : たった3つで片が付く腎疾患診療
講演演者 : 鈴木理志
- 講演会名 : 香取郡市医師会学術講演会
開場催日 : 2017年3月28日
場所 : パレス大藤 佐原
講演演名 : CKD10年。少しは人のためになったのか？
講演演者 : 鈴木理志

『論文』

- 雑誌名 : Clinical experimental nephrology
題名 : Renal outcome after tonsillectomy plus corticosteroid pulse therapy in patients with Immunoglobulin A nephropathy: results of a multicenter cohort study
著者 : Hoshino J, Fujii T, Usui J, Fujii T, Ohashi K, Takeuchi K, Suzuki S, Ubara Y, Yamagata K.
巻、ページ、年度 : 20(4):618-27, 2016

『その他』

- その他 : ラジオ日本「健康知りたい話」
日付 : 2016年1月25日-1月29日
場所 : 東京
題名 : 慢性腎臓病について
氏名 : 藤井隆之

【緩和医療科】

『学 会』

学 会 名 : 第21回 日本緩和医療学会学術大会
 開 催 日 : 2016年6月17日、18日
 場 所 : 国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都
 演 題 : 分野6「教育・啓発・研究」[01] 教育・啓発・研究に関する課
 演 題 座長
 者 : 村上 敏史

学 会 名 : 第21回 日本緩和医療学会学術大会
 開 催 日 : 2016年6月17日、18日
 場 所 : 国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都
 演 題 : 下顎歯肉癌に対してオピオイド大量投与中にアカシジアを併発した
 一例
 演 者 : 村上 敏史、秋月 伸哉、鎌田 佳子、久保田 亨、川上 浩幸

『講 義』

講 義 名 : 緩和ケア研修会
 開 催 日 : 2016年6月25日
 場 所 : 独立行政法人労働者健康安全機構 千葉労災病院
 演 題 : がん性疼痛
 演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 緩和ケア研修会
 開 催 日 : 2016年9月4日
 場 所 : 国立病院機構 千葉医療センター
 演 題 : がん性疼痛
 演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 緩和ケア研修会
 開 催 日 : 2016年10月1日
 場 所 : 医療法人 鉄蕉会 亀田総合病院
 演 題 : がん性疼痛の評価と治療
 演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 緩和ケア研修会
 開 催 日 : 2016年11月12日
 場 所 : 国保直営総合病院 君津中央病院
 演 題 : がん性疼痛
 演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 千葉大学医学部附属病院緩和ケア研修会
 開 催 日 : 2016年12月4日
 場 所 : 千葉大学医学部附属病院
 演 題 : オピオイドを開始するとき
 演 者 : 村上 敏史

講 義 名 : 三井記念病院 緩和ケア研修会
 開 催 日 : 2017年2月12日
 場 所 : 社会福祉法人 三井記念病院
 演 題 : がん性疼痛事例検討
 演 者 : 村上 敏史

『講 演』

講 演 会 名 : 印旛郡市薬剤師会印西地区勉強会
 開 催 日 : 2016年4月20日
 場 所 : 中央駅前地域交流館
 講 演 名 : 緩和ケアについての診断と治療
 講 演 者 : 村上 敏史

講 演 会 名 : 第5回 佐倉薬剤師セミナー
 開 催 日 : 2016年6月8日
 場 所 : 佐倉市健康管理センター
 講 演 名 : 実臨床での緩和医療と治療方法
 ～薬剤師として押さえて欲しいポイント～
 講 演 者 : 村上 敏史

講 演 会 名 : 株式会社千葉薬品 在宅医療介護合同研修会
 開 催 日 : 2016年7月24日
 場 所 : カンデオホテルズ千葉店
 講 演 名 : 緩和医療・がん治療における職種間連携
 講 演 者 : 村上 敏史

講 演 会 名 : 平成28年度 第8回 エクセレントケア志津 (ECS) 講演会
 開 催 日 : 2016年8月3日
 場 所 : エクセレントケア志津
 講 演 名 : 老健における緩和ケア
 講 演 者 : 村上 敏史

講 演 会 名 : 日本医薬品卸勤務薬剤師会 千葉支部 教育研修管理者研修会
 開 催 日 : 2016年11月17日
 場 所 : 千葉市生涯学習センター
 講 演 名 : 緩和ケア
 講 演 者 : 村上 敏史

講 演 会 名 : 2016年度第3回市民公開講座
 開 催 日 : 2016年12月17日
 場 所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール
 講 演 名 : 緩和医療について
 講 演 者 : 村上 敏史

『その他』

そ の 他 : 第22回 日本緩和医療学会学術大会 査読委員
 日 付 : 2017年2月9日－23日
 氏 名 : 村上 敏史

そ の 他 : 医学博士 学位取得 (北里大学)
 氏 名 : 村上 敏史

【消化器内科】

『講演』

- | | | | |
|----------------|-------------|----------------------------|--|
| 講演
開場
講演 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | : 興和創薬株式会社社内学術講演会
: 2016年8月3日
: 興和創薬株式会社東京第二支店2階会議室
: NAFLD / NASH、糖尿病と発癌
: 住吉良太 |
| 講演
開場
講演 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | : 第7回臨床懇話会 in 佐倉
: 2016年10月27日
: ウィシュトンホテル・ユーカリ4階ジャルダン
: 当院での胆膵領域のEUSを用いた診断
: 斉藤将喜 |
| 講演
開場
講演 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | : AbbVie 合同会社社内学術講演会
: 2017年3月22日
: 千葉県文化センター9階会議室
: 消化器内科の守備範囲～肝胆膵の悪性疾患について～
: 住吉良太 |

【循環器科】

『講演』

- | | | | |
|----------------|-------------|----------------------------|---|
| 講演
開場
講演 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | : 血栓治療病診連携セミナー in 佐倉
: 2016年6月14日
: ウィシュトンホテル・ユーカリ
: 近隣医療機関との連携による静脈血栓症治療（座長）
: 徳山 権一 |
| 講演
開場
講演 | 演
催
演 | 会
名
日
所
名
者 | : 糖尿病治療を考える会
: 2017年3月11日
: ウィシュトンホテル・ユーカリ
: 循環器医がSGLT2阻害薬に期待する事（座長）
: 徳山 権一 |

【外 科】

『学 会』

- | | | |
|-----------------------|--------|---|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 28 回日本肝胆膵外科学会学術集会
日 : 2016 年 6 月 3 日
所 : 大阪国際会議場 (大阪)
題 : 当科における門脈合併切除を伴う膵頭十二指腸切除の経験
者 : 小池直人、大島祐二 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 日本癌病態治療研究会
日 : 2016 年 6 月 9 日
所 : 三井ガーデンホテル千葉
題 : 癌性腹水に対するトリアムシノロンアセトニド腹腔内投与の経験
者 : 大島祐二、渡邊裕樹、武内俊章、久保田亨、小池直人、有田誠司 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 12 回千葉重症感染症研究会
日 : 2016 年 6 月 18 日
所 : アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 (千葉)
題 : Compromized Host における重症感染症
ー難治性 MRSA 肺炎に起因する DIC により不幸の転帰をとった 2 型
糖尿病 ABO 不適合腎移植の 1 例
者 : 有田誠司、小池直人、大島祐二、武内俊章、久保田亨、白石匡、
柏原英彦 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 71 回日本消化器外科学会総会
日 : 2016 年 7 月 15 日
所 : アスティ徳島 (徳島)
題 : 肝細胞癌切除例における臨床免疫病理学的検討
者 : 小池直人、大島祐二、武内俊章、久保田亨、有田誠司、河上牧夫、
大河内信弘 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 57 回日本人間ドック学会学術大会
日 : 2016 年 7 月 28 - 29 日
所 : まつもと市民芸術館・ホテルブエナビスタ、松本
題 : 骨密度低下の危険因子
ー Ca 代謝からみた人間ドック検査値の再検討
者 : 有田誠司、楠目健一、久保田亨、石橋見季、中塚真由加、向井拓也、
佐藤美帆、根岸純子、高柳美奈子、池田孝行 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : IASGO World Congress 2016
日 : 2016 年 9 月 10 日
所 : Seoul, Korea
題 : Prognostic value of tumor infiltrating CD8+ T cells and
FoxP3+ Treg in HCC patients after surgical treatment
者 : Naoto Koike, Yuji Ohshima, Toshiaki Takeuchi, Toru Kubota,
Tadashi Shiraishi, Seiji Arita |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 15 回日本遺伝看護学会学術集会
日 : 2016 年 9 月 24 日
所 : 新潟日報メディアシップ (新潟)
題 : 家族性腫瘍の診療体制の構築ー Lynch 症候群の遺伝学的検査に関連
したマイクロサテライト不安定性検査の体制整備についてー
者 : 平野幸子、大島祐二、小池直人 |

2016年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 52 回日本移植学会総会 日 : 2016 年 9 月 29 日 - 10 月 1 日 所 : グランドプリンスホテル新高輪国際館パミール、東京 題 : 難治性 MRSA 肺炎に起因する DIC により不幸の転帰をとった 2 型糖尿病性腎症への ABO 不適合腎移植の 1 例 者 : 有田誠司、小池直人、大島祐二、武内俊章、久保田亨、白石匡、柏原英彦
学 開 場 演 演	会 催	名 : JDDW 日 : 2016 年 11 月 4 日 所 : 神戸コンベンションセンター 題 : 癌性腹水に対するトリアムシノロンアセトニド腹腔内投与の経験 者 : 大島祐二、武内俊章、渡邊裕樹、久保田亨、小池直人、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 78 回千葉県外科医会 日 : 2016 年 11 月 5 日 所 : 千葉県医師会館 (千葉) 題 : 自然退縮が疑われた多発 P-NET の一例 者 : 白石匡、小池直人、大島祐二、武内俊章、久保田亨、有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 13 回がんワクチン療法研究会学術集会 日 : 2016 年 11 月 5 日 所 : 因島医師会病院 (広島) 題 : 切除 + 自家がんワクチン治療後の再発で PD-L1 の高発現が確認できた肝細胞癌の 1 例 者 : 小池直人、岩淵康雄
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 78 回日本臨床外科学会総会 日 : 2016 年 11 月 24 日 - 26 日 所 : 東京 題 : 右閉鎖孔ヘルニア (水腫) の一症例 者 : 武内俊章、小池直人、有田誠司、大島祐二、白石匡、大河内信弘
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 1340 回千葉医学会例会千葉大学大学院医学研究院先端応用外科学平成 28 年度例会 日 : 2016 年 12 月 16 日 - 17 日 所 : 千葉大学医学部附属病院ガーネットホール 題 : 当院における食道胃接合部癌の治療選択と成績 者 : 有田誠司
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 50 回日本臨床腎移植学会 日 : 2017 年 2 月 15 日 - 17 日 所 : 神戸国際会議場 題 : 重症 MRSA 肺炎から ARDS に進展し治療に難渋した腎移植 2 症例の検討 者 : 有田誠司、小池直人、大島祐二、武内俊章、久保田亨、白石匡、柏原英彦
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 22 回千葉内視鏡外科研究会 日 : 2017 年 2 月 18 日 所 : 三井ガーデンホテル千葉 題 : 巨大腹壁癒痕ヘルニアに対して腹腔鏡下修復術を行った症例 者 : 大島祐二、小池直人、白石匡、武内俊章、久保田亨、有田誠司

学 会 名 : 第 79 回千葉県外科医会
 開 催 日 : 2017 年 3 月 4 日
 場 所 : 千葉県医師会館 (千葉)
 演 題 : 腸重積を呈した空腸腫瘍の 1 例
 演 者 : 木曾加代子、小池直人、大島祐二、武内俊章、白石匡、久保田亨、
 有田誠司

学 会 名 : 第 16 回日本再生医療学会総会
 開 催 日 : 2017 年 3 月 7 日
 場 所 : 仙台国際センター
 演 題 : 血管化腓島移植による革新的糖尿病治療法の確立
 演 者 : 高橋禎暢、武部貴則、小池直人、関根圭輔、谷口英樹

『講 義』

講 義 名 : 高知大学医学部外科学第二特別講義
 開 催 日 : 2016 年 12 月 6 日
 場 所 : 高知大学医学部第 1 講堂
 演 題 : 移植と再生医療の up-to-date
 演 者 : 有田誠司

『講 演』

講 演 会 名 : 2016 年度第 4 回市民公開講座
 開 催 日 : 2017 年 1 月 21 日
 場 所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール
 講 演 名 : 認知症を予防しよう
 講 演 者 : 有田誠司

講 演 会 名 : 佐倉四街道地区消化器病検討会 (ミニレクチャー)
 開 催 日 : 2017 年 3 月 15 日
 場 所 : 佐倉健康管理センター (佐倉)
 講 演 名 : 遺伝性大腸癌 (特に家族性大腸腺腫症、リンチ症候群) について
 一適切な診療を行うために
 講 演 者 : 小池直人

講 演 会 名 : 第 8 回救急と安全連鎖の会
 開 催 日 : 2017 年 3 月 18 日
 場 所 : 東邦大学医療センター東棟 7 階講堂
 講 演 名 : 当院における救急と防災への取り組みと現状
 講 演 者 : 有田誠司

講 演 会 名 : 2016 年度第 6 回市民公開講座
 開 催 日 : 2017 年 3 月 18 日
 場 所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール
 講 演 名 : 家族性大腸がんを知ろう。免疫チェックポイント阻害剤について
 講 演 者 : 大島祐二

講 演 会 名 : 聖隷佐倉市民病院クリニカルパス委員会勉強会 パス大会
 開 催 日 : 2017 年 3 月 30 日
 場 所 : 聖隷佐倉市民病院 6 階ホール
 講 演 名 : クリニカルパス バリエーションとは
 講 演 者 : 小池直人

『その他』

- その日の場題氏
他：第13回がんワクチン療法研究会学術集（座長）
付：2016年11月5日
所：因島医師会病院（広島）
名：セッション3：自家腫瘍ワクチン療法の新規研究
名：小池直人
- その日の場題氏
他：平成28年度印旛市郡外科医会（当番世話人）
付：2017年2月9日
所：聖隷佐倉市民病院6階ホール
名：座長：特別講演 大腸癌の集学的治療
演者 宮内英聡 千葉大学先端応用外科准教授
名：有田誠司
- その日の場題氏
他：第79回千葉県外科医会（当番世話人）
付：2017年3月4日
所：千葉県医師会館
名：座長：特別講演 切除不能・困難な胆膵癌の集学的治療
演者 遠藤格 横浜市立大学 消化器外科・腫瘍外科学教授
名：有田誠司

【乳腺外科】

『学会』

- 学会開催場題氏
名：第21回日本緩和医療学会学術大会
日：2016年6月17日
所：京都
題：乳がん局所再発に対し正常組織耐容線量を越えた放射線再照射が有効であった2症例
者：川上浩幸、川島太一、黒野健司

『講演』

- 講演開催場題氏
名：佐倉市民公開講座
日：2016年7月9日
所：聖隷佐倉市民病院6階ホール
名：乳がん診療のいま！！
者：川島太一
- 講演開催場題氏
名：第2回印旛乳癌セミナー
日：2016年9月15日
所：ホテルウィシュトンユーカーリ
名：補助化学療法の有用性を高めるためにできることは？
者：川島太一

講演会名 : エーザイ講演会
 開場催日 : 2016年9月26日
 場所 : 幕張
 講演名 : 再発乳癌の症例提示
 講演者 : 川島太一

講演会名 : 協和キリン講演会
 開場催日 : 2017年1月23日
 場所 : 千葉
 講演名 : 乳癌治療の基礎知識
 講演者 : 川島太一

【整形外科】

『学会』

学会名 : 第45回日本脊椎脊髄病学会
 開場催日 : 2016年4月14日－16日
 場所 : 千葉市
 講演題 : 思春期特発性側弯症の発症に關与する生活關連因子の同定
 講演者 : 渡辺航太、道川武紘、南昌平、高相晶士、松本守雄、他

学会名 : 第45回日本脊椎脊髄病学会
 開場催日 : 2016年4月14日－16日
 場所 : 千葉市
 講演題 : 脊椎ナビゲーション手術の10年の進歩
 講演者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、稲田大吾、神谷光史郎、北村充広、南昌平

学会名 : 第45回日本脊椎脊髄病学会
 開場催日 : 2016年4月14日－16日
 場所 : 幕張メッセ, 千葉県
 講演題 : 成人脊柱変形に対する側方椎体間固定術を併用した前後合併矯正固定術の術後1年成績
 講演者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、岸田俊二、佐々木裕、海村朋孝、南昌平

学会名 : 第45回日本脊椎脊髄病学会
 開場催日 : 2016年4月14日－16日
 場所 : 幕張メッセ, 千葉県
 講演題 : 骨粗鬆症性椎体圧壊に対する低侵襲経腸腰筋側方アプローチを応用した椎体全摘の術後1年成績
 講演者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平

学会名 : 第59回日本手外科学会学術集会
 開場催日 : 2016年4月21日
 場所 : 広島国際会議場
 講演題 : Krackow 変法を用いた腱側々縫合の力学的強度の検討－第3報－
 講演者 : 上野啓介

2016年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 89 回日本整形外科学会学術総会 日 : 2016 年 5 月 12 日 - 15 日 所 : 横浜 題 : Analysis of pre- and post-operative physical test in adolescent idiopathic scoliosis patients 者 : Toshiaki Kotani, Takehide Katogi, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Shunji Kishida, Yu Sasaki, Tomotaka Umimura, Shohei Minami
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 53 回日本リハビリテーション医学会 日 : 2016 年 6 月 9 日 - 11 日 所 : 京都 題 : Lateral interbody fusion 後の 下肢近位筋力定量評価 者 : 小谷俊明、赤澤努、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 23th IMAST 日 : 2016 年 7 月 13 日 - 16 日 所 : Marriott Marquis Washington D.C., USA 題 : Comparison of posterior spinal fusion with anteriorposterior spinal fusion using MIS-ALIF for adult spinal deformity with global sagittal malalignment] 者 : Tsuyoshi Sakuma, Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Shohei Minami
学 開 場 演 演	会 催	名 : MIST 研究会 日 : 2016 年 9 月 9 日 所 : 東京 題 : LLIF と MIS-TLIF の術後一年での比較 者 : 中山 敬太
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 23 回日本脊椎脊髄神経手術手技学会 日 : 2016 年 9 月 16 日 - 17 日 所 : 札幌プリンスホテル, 北海道 題 : 成人脊柱変形に対する低侵襲側方椎体間固定術を併用した前後合併矯正固定術と後方矯正固定術の術後 1 年成績 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 日本骨粗鬆症学会 日 : 2016 年 10 月 6 日 所 : 仙台 題 : 大腿骨近位部骨折患者の骨折二次予防を目的としたデノスマブ投与 者 : 岸田俊二、小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、佐々木裕、上野啓介、中山敬太、穂積崇史、平松翔、南昌平、
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 18 回日本骨粗鬆症学会 日 : 2016 年 10 月 6 日 - 8 日 所 : 仙台 題 : BKP・テリパラチド地域連携パスの中期成績 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、岸田俊二、佐々木裕、中山敬太、上野啓介、加藤木丈英、宮崎木の実、南昌平

2016年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 日本肩学会 日 : 2016年10月21日 所 : 広島県広島市 題 : リバース型全人工肩関節置換術における 0-arm Navigation の有用性の検討 者 : 佐々木裕、平松翔、落合信靖、見目智紀
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第15回更年期と加齢のヘルスケア学会 日 : 2016年10月22日-23日 所 : 東京 題 : 骨粗鬆症医療連携チームの作り方～医師の立場から 者 : 小谷俊明
学 開 場 演 演	会 催	名 : インスト学会 日 : 2016年10月28日 所 : 長崎 題 : LLIF と MIS-TLIF の術後一年での比較 者 : 中山 敬太
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第25回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 日 : 2016年10月28日-29日 所 : 長崎 題 : 成人脊柱変形に対する前後合併矯正固定術の術後1年成績 - 後方矯正固定術との比較 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第25回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 日 : 2016年10月28日-29日 所 : 長崎 題 : 0-arm 椎弓根スクリュー設置におけるパワーツールの有用性 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、中山敬太、穂積崇史、平松翔、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第25回日本脊椎インストゥルメンテーション学会 日 : 2016年10月28日-29日 所 : 長崎 題 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP 治療と地域連携パス 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、中山敬太、穂積崇史、平松翔、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : IOF Regionals Singapore 6th Asia-Pacific Osteoporosis Meeting 日 : 2016.11.4 - 6 所 : Singapore 題 : IMPLEMENTATION OF A CLINICAL PATHWAY INVOLVING HOSPITAL AND GENERAL PRACTITIONERS FOR OSTEOPOROTIC VERTEBRAL FRACTURES: COMBINATION OF BALLOON KYPHOPLASTY AND WEEKLY TERIPARATIDE INJECTIONS 者 : Toshiaki Kotani, Tsutomu Akazawa, Tsuyoshi Sakuma, Keita Nakayama, Shohei Minami
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本側弯症学会 日 : 2016年11月17日 所 : 国立京都会館, 京都市 題 : BNC2 遺伝子の過剰発現が思春期特発性側弯症の発症リスクとなる 者 : 小倉洋二、高橋洋平、武田和樹、南昌平、小谷俊明、松本守雄、他

2016年度 学術実績

学 開 場 演 演	会 催	名 : 側彎症学会 日 : 2017年11月17日 所 : 国立京都会館, 京都市 題 : Lenke2 に対する上位胸椎の非固定群の術後検討 者 : 中山 敬太
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本側弯症学会 日 : 2016年11月17日-18日 所 : 国立京都会館, 京都市 題 : TBX6 遺伝子の null mutation と hypomorphic risk haplotype の compound heterozygote は日本人においても先天性側弯症を引き起こす 者 : 武田和樹、渡辺航太、南 昌平、小谷俊明、松本守雄、他
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本側弯症学会 日 : 2016年11月17日-19日 所 : 国立京都会館, 京都市 題 : 成人脊柱変形に対する MIS-ALIF を併用した前後合併矯正固定術と後方矯正固定術の術後1年成績 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本側弯症学会 日 : 2016年11月17日-19日 所 : 国立京都会館, 京都市 題 : 側弯症術後患者の進路調査 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本側弯症学会 日 : 2016年11月17日-19日 所 : 国立京都会館, 京都市 題 : 側弯症検診のためのモアレ・トポグラフィ法と新しい3Dスコリオグラフィ法の比較検討 者 : 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、中山敬太、南昌平、長谷部勉、稲田正貴、中田康弘、片桐克美、杉山園美、大塚嘉則、藤澤武彦
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第50回日本側弯症学会 日 : 2016年11月17日-19日 所 : 国立京都会館, 京都市 題 : 思春期特発性側弯症手術における術中3DCTナビゲーションシステムを用いた矯正の可視化 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第27回日本小児整形外科学術集会 日 : 2016年12月1日-2日 所 : 仙台 題 : 小児整形外科術後患者の進路調査 者 : 小谷俊明、亀ヶ谷真琴、西須孝、赤澤努、佐久間毅、中山敬太、柿崎潤、及川泰宏、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第28回ちば脊椎カンファレンス 日 : 2017年2月11日 所 : APA ホテル&リゾート東京ベイ幕張, 千葉県 題 : 当院における内視鏡下脊椎手術 (MED/MEL) 導入についてーゼロから始めた内視鏡下手術ー 者 : 佐久間毅、小谷俊明、中山敬太、南昌平

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 31 回東日本手外科研究会 日 : 2017 年 2 月 11 日 所 : 北海道立道民活動センター かるで 2・7 題 : ガレアッチ脱臼骨折に橈尺骨塑性変形を伴い整復困難を認めた一例 者 : 上野啓介
学 開 場 演 演	会 催	名 : 日本人工関節学会 日 : 2017 年 2 月 23 日 所 : 沖縄県那覇市 題 : リバース型全人工肩関節置換術における 0-arm Navigation の有用性 者 : 佐々木裕、小谷俊明、赤澤努、岸田俊二、佐久間毅、上野啓介、 中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 7 回日本成人脊柱変形学会 日 : 2017 年 3 月 5 日 所 : ステーションコンファレンス東京, 東京都 題 : 成人脊柱変形矯正手術における L5/S1 椎間の前弯角の術後 2 年評価 -10 度以上の前弯ケージは有効か? 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 7 回日本成人脊柱変形学会 日 : 2017 年 3 月 5 日 所 : ステーションコンファレンス東京, 東京都 題 : 成人脊柱変形に対する前後合併矯正固定術の術後 2 年成績 -矯正損失と骨癒合評価に注目して- 者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、中山敬太、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 30 回自己血輸血学会 日 : 2017 年 3 月 10 - 11 日 所 : 横浜 題 : 自己血貯血を行う側弯症術前の栄養補助飲料の有用性 者 : 小谷俊明、佐久間毅、宮崎木の実、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 関東整形災害外科学会 日 : 2017 年 3 月 17 日 所 : 東京 題 : 多職種連携アプローチを用いた大腿骨近位部骨折治療 者 : 岸田俊二、小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、佐々木裕、上野啓介、 中山敬太、穂積崇史、平松翔、南昌平
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 3 回日本医療安全学会 日 : 2017 年 3 月 18 日 - 19 日 所 : 東京 題 : 医療事故情報収集事業等データベースを用いた MRI 磁性体持ち込み 事故の分析 者 : 小谷俊明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 4 回脊柱変形セミナー 日 : 2017 年 3 月 25 日 所 : ベルサール八重洲, 東京都 題 : 症例検討会 -腰椎前弯の過矯正により前方ケージの入れ替えを要した 1 例- 者 : 佐久間毅

『講 義』

講 開 場 演 演	義 催	名 : 第 27 回千葉脊椎カンファレンス ワークショップ 日 : 2016 年 7 月 2 日 所 : APA ホテル & リゾート東京ベイ幕張, 千葉 題 : 低侵襲経大腰筋アプローチを応用した 椎体置換術の手技 者 : 佐久間 毅
講 開 場 演 演	義 催	名 : 千葉大学医学部ユニット講義 日 : 2016 年 10 月 13 日 所 : 千葉大学医学部 題 : 転移性脊椎腫瘍 者 : 小谷俊明
学 開 場 演 演	会 催	名 : 千葉市健康体力づくり指導者講習会 日 : 2016 年 11 月 13 日 所 : 千葉市 千葉県総合スポーツセンター 題 : 足腰元気でロコモ対策 者 : 岸田俊二
講 開 場 演 演	義 催	名 : 日本臓器株式会社社内講義 日 : 2017 年 2 月 17 日 所 : ウィンストンホテルユーカリ, 千葉県 題 : 腰曲がりと腰痛 - その病態と治療について - 者 : 佐久間 毅

『講 演』

講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 武田薬品工業株式会社 社内勉強会 日 : 2016 年 4 月 13 日 所 : 武田薬品工業千葉営業所 名 : 肩関節疾患について 者 : 佐々木裕
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 痛みを考える会 日 : 2016 年 4 月 16 日 所 : 名古屋 名 : BKP と週一回 PTH を用いた病診連携とリエゾンサービスの取り組み 者 : 小谷俊明
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 第 4 回北総 SpineJoint ミーティング 日 : 2016 年 6 月 3 日 所 : 浦安 名 : 脊柱変形の治療 - 小児から成人まで - 者 : 佐久間 毅
講 開 場 講 講	演 催 演 演	会 名 : 千葉リウマチ外科セミナー 日 : 2016 年 6 月 3 日 所 : 千葉県千葉市美浜区 名 : 肩関節の画像所見および外科的治療について 者 : 佐々木裕

2016年度 学術実績

講 開 場 講	演 催 演 演	会 演 演	名 : 千葉上肢セミナー 日 : 2016年7月9日 所 : ホテルシーサイドオーツカ 名 : 鏡視下腱板修復術後感染の1例 者 : 佐々木裕
学 開 場 演 演	会 催 演 演	名 : 2016年理学療法の日 聖隷リハビリフェア 日 : 2016年7月16日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール 題 : 元気にロコモ対策! 者 : 岸田俊二	
講 開 場 講	演 催 演 演	会 演 演	名 : Trauma small seminar「橈骨遠位端骨折の治療戦略」 日 : 2016年7月24日 所 : 千葉大学病院 名 : 橈骨遠位端骨折の分類と治療方針 者 : 上野啓介
講 開 場 講	演 催 演 演	会 演 演	名 : 印旛市郡上肢セミナー 日 : 2016年7月28日 所 : 聖隷佐倉市民病院 6階ホール 名 : 外来で出来る手外科診療のコツ ～転倒予防による橈骨遠位端骨折防止を含めて～ 者 : 上野啓介
講 開 場 講	演 催 演 演	会 演 演	名 : 整形外科ネットワーク筑波 日 : 2016年8月10日 所 : 筑波 名 : 成人脊柱変形に対する手術戦略 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演 演	会 演 演	名 : 熊谷骨粗鬆症セミナー 日 : 2016年9月5日 所 : 熊谷 名 : 骨粗鬆症椎体骨折に関する院内連携と地域連携の取り組み 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演 演	会 演 演	名 : 第2回水戸地域連携セミナー 日 : 2016年9月12日 所 : 水戸 名 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する地域連携とリエゾンサービスチームの 作り方 者 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演 演	会 演 演	名 : 第71回国民体育大会千葉県選手団結団式講演会 日 : 2016年9月21日 所 : 千葉市 名 : 国体におけるドーピング検査 者 : 南 昌平
学 開 場 演 演	会 催 演 演	名 : 読売・日本テレビ文化センター健康公開講座・佐倉 日 : 2016年9月22日 所 : ウィッシュトンホテル・ユーカリ, 佐倉市 題 : 股関節の痛みの原因と治療～人工股関節を用いた手術について～ 者 : 岸田俊二	

2016年度 学術実績

講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 読売・日本テレビ文化センター健康公開講座・佐倉 : 2016年9月22日 : ウィンストンホテル・ユーカーリ, 佐倉市 : 肩関節の痛みの原因と治療 : 佐々木裕
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 読売・日本テレビ文化センター健康公開講座・佐倉 : 2016年9月22日 : ウィンストンホテル・ユーカーリ, 佐倉市 : 手指・手関節の痛みの原因と治療 ~ばね指・腱鞘炎・手指のしびれ等の治療のポイント~ : 上野啓介
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 関東圏 OVF における BKP 治療を考える会 : 2016年10月15日 : 東京 : BKP と地域多職種連携 (リエゾン) を組み合わせた病院活性化の手法 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第4回 OLSweb 講演会 : 2016年10月15日 : Web : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する病診連携のコツとリエゾンサービスについて : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: Osteoporosis Forum in 名古屋 : 2016年10月27日 : 名古屋 : 骨粗鬆症性椎体骨折に対する病診連携~治療継続率を上げるための工夫 : 小谷俊明
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 外傷研究会 : 2016年10月29日 : 千葉県千葉市美浜区 : 橈骨頭骨折を合併した肘関節骨折の3例 : 穂積崇史 上野啓介 佐々木裕
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第11回千葉筑波脊椎手術手技講習会 : 2016年11月5日 : APA ホテル & リゾート東京ベイ幕張, 千葉 : 低侵襲経大腰筋側方アプローチを応用した椎体置換術 : 佐久間 毅
講 開 場 講	演 催 演	会 名 日 所 名 者	: 第2回札幌東 DXA 連携講演会 : 2016年11月11日 : 札幌 : 再骨折予防に関する地域連携とリエゾンサービスの取り組み : 小谷俊明
学 開 場 演	会 催 演	名 日 所 題 者	: 印旛市群地域リハビリテーション広域支援センター : 2016年11月15日 : 成田市 成田赤十字病院 : ロコモティブシンドロームについて : 上野啓介

講演 開場 場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	: 千葉上肢を語る会 : 2016年11月19日 : 千葉大学医学部記念講堂 : 上腕骨頸部粉碎骨折に腋窩神経損傷を伴った1例 : 佐々木裕
講演 開場 場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	: 新川地区骨粗鬆症講演会 : 2017年1月19日 : 富山県魚津市 : 骨粗鬆症椎体骨折に関する病診連携とリエゾンチームの作り方 : 小谷俊明
講演 開場 場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	: 大島郡医師会学術講演会 : 2017年1月27日 : 奄美大島 : 骨粗鬆症椎体骨折に対する地域連携～二次骨折予防の取り組み : 小谷俊明
講演 開場 場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	: 平成28年度八千代市スポーツ指導員認定講習会 : 2017年2月11日 : 八千代市総合生涯学習プラザ : スポーツ障害について : 佐々木裕
講演 開場 場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	: 第7回日本成人脊柱変形学会ミニレクチャー : 2017年3月5日 : 東京都 : 成人脊柱変形手術におけるナビゲーション手術 : 小谷俊明
講演 開場 場 講演	演 催 演 演	会 名 日 所 名 者	: 平成28年度練馬区医師会校医友の会研修会 : 2017年3月11日 : 東京都 : 脊柱側弯症学校検診について - 運動器検診を含めて : 南昌平

『論文』

雑誌 題	名 名	: 関節外科 : 【側彎症手術－術式の進歩と改善点－】 後方矯正固定術 Sublaminar taping を用いた手術
著 者	者	: 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、南昌平
巻、 ページ、 年度	巻、 ページ、 年度	: 35巻7号 Page708-711(2016.07)
雑誌 題	名 名	: 整形・災害外科 : 【骨粗鬆症性椎体骨折－治療の現状と問題点】 骨粗鬆症性椎体骨折に対する BKP 治療と地域連携パス
著 者	者	: 小谷俊明、赤澤努、佐久間毅、岸田俊二、佐々木裕、南昌平
巻、 ページ、 年度	巻、 ページ、 年度	: 59巻7号 Page929-932(2016.06)
雑誌 題	名 名	: 骨粗鬆症治療 : 骨粗鬆症リエゾンサービスチームの作り方
著 者	者	: 小谷俊明
巻、 ページ、 年度	巻、 ページ、 年度	: 16巻1号 P94-98 (2017.1)

- 雑題 誌 名 : Journal of Spine Research
 名 : 神経線維腫症における早期発症側彎症に対する早期脊椎固定術と Growing Rod 手術の比較 多施設研究
 著 者 : 田内亮吏、川上紀明、辻太一、宇野耕吉、鈴木哲平、柳田晴久、山口徹、小谷俊明、山元拓哉、村上秀樹、出村諭
 巻、ページ、年度 : 7 巻 11 号 Page1645-1651(2016. 11)
- 雑題 誌 名 : Spine
 名 : Perioperative Complications in 155 Patients who Underwent Oblique Lateral Interbody Fusion Surgery: Perspectives and Indications from a Retrospective, Multicenter Survey.
 著 者 : Abe K, Orita S, Mannoji C, Motegi H, Aramomi M, Ishikawa T, Kotani T, Akazawa T, Morinaga T, Fujiyoshi T, Hasue F, Yamagata M, Hashimoto M, Yamauchi T, Eguchi Y, Suzuki M, Hanaoka E, Inage K, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Kanamoto H, Yamauchi K, Nakamura J, Suzuki T, Hynes RA, Aoki Y, Takahashi K, Ohtori S.
 巻、ページ、年度 : 2016 Apr 22. [Epub ahead of print]
- 雑題 誌 名 : J Orthop Sci.
 名 : The nature of osteoporotic low back pain without acute vertebral fracture: A prospective multicenter study on the analgesic effect of monthly minodronic acid hydrate.
 著 者 : Fujimoto K, Inage K, Orita S, Yamashita M, Abe K, Yamagata M, Sainoh T, Akazawa T, Kinoshita T, Nemoto T, Hirayama J, Murata Y, Kotani T, Aoki Y, Eguchi Y, Sakuma T, Aihara T, Ishikawa T, Suseki K, Hanaoka E, Yamauchi K, Kubota G, Suzuki M, Sato J, Shiga Y, Kanamoto H, Inoue M, Kinoshita H, Koda M, Furuya T, Takahashi K, Ohtori S.
 巻、ページ、年度 : 2017 Mar 8. pii:S0949-2658(17)30034-9.
- 雑題 誌 名 : Hum Mutat.
 名 : Compound Heterozygosity for Null Mutations and a Common Hypomorphic Risk Haplotype in TBX6 Causes Congenital Scoliosis.
 著 者 : Takeda K, Kou I, Kawakami N, Iida A, Nakajima M, Ogura Y, Imagawa E, Miyake N, Matsumoto N, Yasuhiko Y, Sudo H, Kotani T; Japan Early Onset Scoliosis Research Group., Nakamura M, Matsumoto M, Watanabe K, Ikegawa S.
 巻、ページ、年度 : 2017 Mar;38(3):317-323.
- 雑題 誌 名 : J Orthop Sci.
 名 : A Japanese nationwide multicenter survey on perioperative complications of corrective fusion for elderly patients with adult spinal deformity.
 著 者 : Yamato Y, Matsuyama Y, Hasegawa K, Aota Y, Akazawa T, Iida T, Ueyama K, Uno K, Kanemura T, Kawakami N, Kotani T, Takaso M, Takahashi J, Tanaka M, Taneichi H, Tsuji T, Hosoe H, Mochida J, Shimizu T, Yonezawa I, Watanabe K, Matsumoto M; Committee for Adult Deformity, Japanese Scoliosis Society.
 巻、ページ、年度 : 2017 Mar;22(2):237-242.

- 雑題 誌 名 : Pediatr Int.
 名 : Preoperative urinary tract obstruction in scoliosis patients.
 著者 : Suzuki S, Kotani T, Mori K, Kawamura K, Ohtake A.
 巻、ページ、年度 : 2017 Jan;59(1):48-52.
- 雑題 誌 名 : Spine
 名 : Perioperative Complications in 155 Patients Who Underwent Oblique Lateral Interbody Fusion Surgery: Perspectives and Indications From a Retrospective, Multicenter Survey.
 著者 : Abe K, Orita S, Mannoji C, Motegi H, Aramomi M, Ishikawa T, Kotani T, Akazawa T, Morinaga T, Fujiyoshi T, Hasue F, Yamagata M, Hashimoto M, Yamauchi T, Eguchi Y, Suzuki M, Hanaoka E, Inage K, Sato J, Fujimoto K, Shiga Y, Kanamoto H, Yamauchi K, Nakamura J, Suzuki T, Hynes RA, Aoki Y, Takahashi K, Ohtori S.
 巻、ページ、年度 : 2017 Jan 1;42(1):55-62.
- 雑題 誌 名 : Journal of Spine Research
 名 : 成人脊柱変形に対する経大腰筋側方椎体間固定術による腰椎前弯獲得の因子
 著者 : 佐久間毅、小谷俊明、赤澤努、南昌平
 巻、ページ、年度 : J. Spine Res. 7: 1500-3, 2016
- 雑題 誌 名 : 東京都予防医学協会年報 2017 年版((公財)東京都予防医学協会編. 東京)
 名 : 脊柱側弯症検診：脊柱側弯症検診の実施成績、脊柱変形と姿勢異常の病態と診断
 著者 : 南昌平
 巻、ページ、年度 : 著書 33-39, 2017. 3
- 雑題 誌 名 : 千葉県学校保健集団検診報告書平成 27 年度
 名 : 脊柱側弯症検診
 著者 : 南昌平
 巻、ページ、年度 : 著書 6-10, 2017. 3
- 雑題 誌 名 : J Bone and Joint Surg Am
 名 : Physical activities and lifestyle factors related to adolescent idiopathic scoliosis.
 著者 : Watanabw K, Michikawa T, Ynezawa I, Takasou M, Minami S, Matsumoto M, et al
 巻、ページ、年度 : 99, 284-294, 2017

『その他』

- その 他 : コラム (人工関節の広場「あなたの町のドクターコラム」)
 日付 : 2016 年 6 月 29 日
 場所 : 聖隷佐倉市民病院内収録
 題名 : 人工関節置換術を安心して受けるために
 氏名 : 岸田俊二

- その日題氏
の
他 : のぞみ「NPO 法人のぞみ会 (変形性股関節症の会)」発行誌
付 : 2016 年 9 月 14 日
名 : 千葉支部創立 10 周年に寄せて
名 : 岸田俊二
- その日場題氏
の
他 : インタビュー (人工関節 . info 「今週のピックアップドクター」)
付 : 2016 年 9 月 30 日
所 : 聖隷佐倉市民病院内収録
名 : 術後の患者様の生活を第一に
名 : 岸田俊二
- その日場題氏
の
他 : 最新医療経営 Phase3 2017 年 2 月号 (発行:株式会社日本医療企画)
付 : 2017 年 1 月 10 日
所 : 聖隷佐倉市民病院内取材
名 : ホスピタルのピカリと光る取り組みを追う「ホスピカ!」
名 : 岸田俊二、山内伸章、宮崎木の実、森千賀、池田陽香、坂本香織
- その日場題氏
の
他 : ラジオ出演 (NHK 千葉放送局「ひるどき情報ちば」)
付 : 2017 年 2 月 16 日
所 : 聖隷佐倉市民病院内収録
名 : ロコモティブシンドローム
名 : 岸田俊二

【小児科】

『学会』

- 学開場演
催
名 : 第 119 回日本小児科学会学術集会
日 : 2016 年 5 月 13 日 - 15 日
所 : さっぽろ芸術文化の館
題 : 病初期より観察しえた広範囲疼痛症候群の小児 4 例
者 : 森一越
- 学開場演
催
名 : 第 119 回日本小児科学会学術集会
日 : 2016 年 5 月 13 日 - 15 日
所 : ロイトン札幌等
題 : 画像検査から診断に至らなかった尿管異所開口の女児例
者 : 鈴木繁、森一越、川村研
- 学開場演
催
名 : 第 51 回日本小児腎臓病学会学術集会
日 : 2016 年 7 月 7 日 - 9 日
所 : ウィンク愛知
題 : 紫斑病性腎炎における腎生検時期の検討
者 : 鈴木繁、森一越、川村研
- 学開場演
催
名 : 第 8 回千葉小児腎臓フォーラム
日 : 2016 年 10 月 13 日
所 : ホテルフランクス
題 : 演題「NS-AKI で発症し急性期に腎生検を行った初発ネフローゼ症候群の 1 例」
者 : 川村研

学 会 名 : 第 83 回関東小児腎臓研究会
 開 催 日 : 2017 年 2 月 11 日
 場 所 : 東京女子医科大学臨床講堂
 演 題 : NS-AKI で発症し、腎生検において間質の変化を認めた IgAN の女兒例
 演 者 : 鈴木 繁、森 一越、川村 研

『講 義』

講 義 名 : 研修医勉強会
 開 催 日 : 2016 年 5 月 26 日
 場 所 : 6 階ホール
 演 題 : 抗菌薬使用とその周辺
 演 者 : 鈴木 繁、中谷 有岐

講 義 名 : 防災委員会 机上訓練
 開 催 日 : 2016 年 9 月 2 日
 場 所 : 6 階ホール
 演 題 : 災害医療とトリアージ 熊本地震の概説
 演 者 : 鈴木 繁

講 義 名 : 研修医勉強会
 開 催 日 : 2016 年 9 月 21 日
 場 所 : 小児科外来
 演 題 : 風邪の診療
 演 者 : 森 一越

講 義 名 : アトピー性皮膚炎勉強会
 開 催 日 : 2017 年 1 月 27 日
 場 所 : 薬局内
 演 題 : 薬剤師のためのアトピー性皮膚炎勉強会
 演 者 : 鈴木 繁

講 義 名 : 研修医勉強会
 開 催 日 : 2017 年 3 月 15 日
 場 所 : 小児科外来
 演 題 : 小児の救急診療
 演 者 : 森 一越

『講 演』

講 演 会 名 : 佐倉子ども健康フォーラム
 開 催 日 : 2016 年 6 月 25 日
 場 所 : ウィンストンホテル ユーカリ
 講 演 名 : 「低身長～背が低いって病気なの？」
 講 演 者 : 川村 研

講 演 会 名 : 印旛市群小児科医会講演会
 開 催 日 : 2016 年 7 月 21 日
 場 所 : ウィンストンホテル ユーカリ
 講 演 名 : 座長「小児の昼間尿失禁と夜尿症」
 講 演 者 : 川村 研

講演会名 : 印旛市群健康フォーラム
 催日 : 2017年2月23日
 場所 : 印旛市群合同庁舎
 講演名 : 講演「低身長の見方と治療について」
 講演者 : 川村 研

『論文』

雑誌名 : 小児内科
 題名 : 若年性線維筋痛症による頭痛の特徴を教えてください
 著者 : 森 一越
 巻、ページ、年度 : Vol. 48, No. 8, 1202-1203, 2016

雑誌名 : 小児科臨床
 題名 : 摂食障害経過中に上腸間膜動脈症候群を発症した1例
 著者 : 鈴木 繁、森一越、藤巻 元、川村 研
 巻、ページ、年度 : 5巻、823～826、2016

雑誌名 : 小児科臨床
 題名 : 当院から泌尿器科的疾患により他院へ紹介となった症例の考察
 著者 : 鈴木 繁、森一越、川村 研
 巻、ページ、年度 : 9巻、1557～1561、2016

雑誌名 : Pediatrics International
 題名 : Preoperative urinary tract obstruction in scoliosis patients
 著者 : Shigeru Suzuki, Toshiaki Kotani, Kazuetsu Mori,
 Ken Kawamura, Akira Ohtake
 巻、ページ、年度 : 59: 48-52, 2017

『その他』

その他の他 : 千葉小児腎 TMA 研究会
 付日 : 2016年6月9日
 場所 : ホテルニューオータニ幕張
 題名 : 座長「病理から診た TMA 疾患の鑑別」
 氏名 : 川村 研

その他の他 : 第51回日本小児腎臓病学会学術集会
 付日 : 2016年7月7日
 場所 : ウィンクあいち
 題名 : 座長 一般演題 「遺伝性腎疾患」
 氏名 : 川村 研

その他の他 : 第51回日本小児腎臓病学会学術集会
 付日 : 2016年7月8日
 場所 : ウィンクあいち
 題名 : 座長 一般演題 「慢性糸球体腎炎6」
 氏名 : 森 一越

その他の他 : 平成28年度学校検尿精密検診結果報告会
 付日 : 2016年11月27日
 場所 : 臼井公民館
 題名 : 講演「学校検尿からわかること」
 氏名 : 川村 研

【眼科】

『学会』

- | | | |
|-----------------------|--------|--|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第70回日本臨床眼科学会
日 : 2016年11月3日－6日
所 : 京都市
題 : 黄斑円孔網膜剥離における術後ガス下OCTの有用性
者 : 酒井麻夫、木下太賀、小野田康孝、永岡卓、酒井祐佳、産賀真、前野貴俊 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第70回日本臨床眼科学会
日 : 2016年11月3日－6日
所 : 京都市
題 : 輪状締結を部分切除しバルベルトインプラント挿入を施行した一例
者 : 矢田圭介、坂本理之、小野田康孝、産賀真、吉田いづみ、酒井麻夫、前野貴俊 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 34th. Annual Meeting of ASRS
日 : 2016年8月9日－14日
所 : サンフランシスコ、米国
題 : Long term surgical outcomes of the inverted internal limiting membrane flap technique in highly myopic macular hole retinal detachment.
者 : Kinoshita T, Onoda Y, Maeno T |

『論文』

- | | | |
|---------------|---|---|
| 雑
題 | 誌 | 名 : Graefe's archive for clinical and experimental ophthalmology
名 : Long-term surgical outcomes of the inverted internal limiting membrane flap technique in highly myopic macular hole retinal detachment. |
| 著
卷、ページ、年度 | 者 | 者 : Kinoshita T, Onoda Y, Maeno T
DOI 10.1007/s00417-017-3614-0, 2017 |

【耳鼻咽喉科】

『全国学会』

特別講演

- | | | |
|-----------------------|--------|--|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第42回全国身体障害者福祉医療講習会
日 : 2016年6月5日
所 : 富山市
題 : 嚥下障害とチーム治療
者 : 津田豪太 |
|-----------------------|--------|--|

学 会 名 : 第 61 回日本音声言語医学会
開 催 日 : 2016 年 11 月 3 日
場 所 : 横浜市
演 題 : 嚥下障害における栄養管理の重要性
演 者 : 津田豪太

シンポジウム・パネルディスカッション

学 会 名 : 第 40 回日本頭頸部癌学会
開 催 日 : 2016 年 6 月 9 日
場 所 : 大宮市
演 題 : 口腔がんに対するチーム医療 構音障害とその対応
演 者 : 津田豪太

学 会 名 : 第 68 回日本気管食道科学会
開 催 日 : 2016 年 11 月 17 日
場 所 : 東京都
演 題 : 気管食道科領域の逆流症 難治性 LPRD 症例に対するアコアチミド
の効果
演 者 : 津田豪太

学 会 名 : 第 40 回日本嚥下医学会
開 催 日 : 2017 年 2 月 25 日
場 所 : 東京都
演 題 : 誤嚥防止手術 Biller 変法の術中対応
演 者 : 津田豪太、木村百合香 (昭和大学)、武藤博之 (山王病院)、
鈴木猛司 (千葉大学)、馬目美由紀、清宮悠人、前田暁子、五十嵐麻美、
山浦一恵、青木尚美

講演・講師

学 会 名 : 第 14 回日本耳鼻咽喉科学会嚥下講習会
開 催 日 : 2016 年 4 月 3 日
場 所 : 東京都
演 題 : 嚥下障害に対する外科的治療の適応と実際
演 者 : 津田豪太

学 会 名 : 第 10 回嚥下機能評価研修会
開 催 日 : 2017 年 2 月 26 日
場 所 : 東京都
演 題 : 嚥下内視鏡検査の実際
演 者 : 津田豪太

一般発表・ポスター

学 会 名 : 第 28 回日本嚥下障害臨床研究会
開 催 日 : 2016 年 7 月 3 日
場 所 : 名古屋市
演 題 : 誤嚥防止手術の選択方法の検討～確実性・侵襲・残存嚥下機能～
演 者 : 津田豪太、五十嵐麻美、前田暁子、青木尚美、山浦一恵、
馬目美由紀

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 22 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会 日 : 2016 年 9 月 24 日 所 : 新潟市 題 : 誤嚥防止手術の術式選択について 者 : 津田豪太、五十嵐麻美、前田暁子、青木尚美、馬目美由紀
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 32 回日本静脈経腸栄養学会 日 : 2017 年 2 月 24 日 所 : 岡山市 題 : 栄養療法を目的とした嚥下障害の診断システム～精度の高い VE と VF の併用評価～ 者 : 津田豪太、青木尚美、山浦一恵、五十嵐麻美、前田暁子、青木佐紀子、馬目美由紀、濱野恭佳、富田歩子、大木麻理子、松田裕美、大島祐二

『地方学会・研究会』

特別講演

学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 37 回東日本音声外科研究会 日 : 2016 年 4 月 9 日 所 : 東京都 題 : 嚥下障害への手術治療 者 : 津田豪太
学 開 場 演 演	会 催	名 : 第 19 回日耳鼻神奈川嚥下研究会 日 : 2016 年 6 月 25 日 所 : 横浜市 題 : 嚥下治療の中での外科的アプローチ 者 : 津田豪太
学 開 場 演 演	会 催	名 : 富山県脳卒中連携の会 日 : 2016 年 6 月 28 日 所 : 富山市 題 : チームで行う嚥下障害治療 者 : 津田豪太
学 開 場 演 演	会 催	名 : 印旛郡歯科医師会講演会 日 : 2016 年 9 月 13 日 所 : 佐倉市 題 : チームでする嚥下障害治療 者 : 津田豪太
学 開 場 演 演	会 催	名 : Cerebral & Diabetic Conference 2016 日 : 2016 年 11 月 11 日 所 : 川口市 題 : 嚥下障害のチーム治療 者 : 津田豪太
学 開 場 演 演	会 催	名 : 福井県医師会研修会 日 : 2016 年 12 月 11 日 所 : 福井市 題 : かかりつけ医の摂食嚥下 者 : 津田豪太

講演・講師

学開場演
催 名 : 千葉県内聖隷グループ勉強会
日 : 2016年6月11日
所 : 佐倉市
題 : 嚥下の診断と治療～リハビリスタッフへむけて～
者 : 津田豪太

学開場演
催 名 : 第1回千葉県摂食嚥下ネットワーク
日 : 2016年8月31日
所 : 船橋市
題 : 私たちができること、必要としていること
者 : 津田豪太

学開場演
催 名 : 松戸エデンの園 講演
日 : 2016年9月14日
所 : 松戸市
題 : 安全に美味しく食べるために
者 : 津田豪太

学開場演
催 名 : 第1回北総摂食嚥下勉強会
日 : 2016年12月1日
所 : 佐倉市
題 : スクリーニング検査
者 : 津田豪太

学開場演
催 名 : 名古屋大学 耳鼻咽喉科系統講義
日 : 2017年1月16日
所 : 名古屋市
題 : 嚥下障害の治療
者 : 津田豪太

学開場演
催 名 : 千葉県回復期リハ連携の会 医師部会
日 : 2017年1月19日
所 : 船橋市
題 : 耳鼻咽喉科中心の嚥下治療
者 : 津田豪太

学開場演
催 名 : 第5回千葉県NST摂食嚥下リハ部会
日 : 2017年3月30日
所 : 船橋市
題 : 千葉県摂食嚥下ネットワークについて
者 : 津田豪太

一般発表

学開場演
催 名 : 第24回千葉NSTネットワーク講演会
日 : 2016年5月14日
所 : 千葉市
題 : 重度嚥下障害例への局所麻酔での嚥下機能改善手術
者 : 津田豪太、青木尚美、山浦一恵、五十嵐麻美、富田歩子、大木麻里子、松田裕美、上田由美、小野寺亜紀、大島祐二

- | | | |
|-----------------------|--------|---|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 89 回日耳鼻千葉県地方部会
日 : 2016 年 6 月 26 日
所 : 千葉市
題 : 乾燥を伴う咽喉頭異常感症への治療
者 : 津田豪太 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 4 回日本静脈経腸栄養学会 関東北信越支部会
日 : 2016 年 9 月 25 日
所 : 飯山市
題 : 誤嚥防止手術の適応と選択
者 : 津田豪太、青木尚美、山浦一恵、富田歩子、大木麻里子、松田裕美、
小野寺亜紀、伊藤陽子、馬目美由紀、五十嵐麻美、前田暁子、
大島祐二 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 90 回日本耳鼻咽喉科学会千葉県地方部会
日 : 2017 年 1 月 22 日
所 : 千葉市
題 : Biller 法での術中対応について
者 : 津田豪太、武藤博之 (山王病院)、鈴木猛司 (千葉大学 医学部) |

『論文』

- | | | |
|-------------------------|---|---|
| 雑
題
著
卷、ページ、年度 | 誌 | 名 : ENTONI 196 号
名 : 在宅医療に向けての嚥下障害手術の概要
者 : 津田豪太
年度 : p141-143、2016/08 |
| 雑
題
著
卷、ページ、年度 | 誌 | 名 : 日本医事新報 4825 号
名 : 高齢者の嚥下障害へのアプローチと治療法の選択
者 : 津田豪太
年度 : p60、2016/10 |

【放射線治療科】

『学会』

- | | | |
|-----------------------|--------|---|
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 21 回日本緩和医療学会学術大会
日 : 2016 年 6 月 17 日 - 18 日
所 : 京都 国立京都国際会館
題 : 乳がん局所再発に対し正常組織耐容線量を越えた放射線再照射が有
効であった 2 症例
者 : 川上浩幸、川島太一、黒野健司 |
| 学
開
場
演
演 | 会
催 | 名 : 第 29 回放射線腫瘍学会学術大会
日 : 2016 年 11 月 25 日 - 27 日
所 : 京都 国立京都国際会館
題 : Implementation of palliative therapy using IMRT for locally
advanced or metastatic lesion
者 : 川上浩幸、渡辺未歩、加藤由明、戸塚大輔、村上敏、川島太一、
神尾真由美 |

【放射線科】

『論文』

- 雑誌名 : 臨床放射線 (金原出版)
 題名 : 外国文献紹介: アメリカ合衆国コロラド州の小児に流行したエンテロウイルス D68 感染症に関連した急性弛緩性麻痺や脳神経機能障害の集団発生について
 著者 : 瀬戸一彦
 巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 10、2016
- 雑誌名 : 臨床放射線
 題名 : 外国文献紹介: 前屈位や後屈位の T2 強調 MRI 画像を用いた変形性頸椎症による脊髄症の患者の脊髄圧迫および髄内高信号病変の評価について
 著者 : 瀬戸一彦
 巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 292、2016
- 雑誌名 : 臨床放射線
 題名 : 外国文献紹介: 心外膜リードを使用したペースメーカー植え込み後に生ずる心絞扼について—小児におけるまれな合併症
 著者 : 瀬戸一彦
 巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 404、2016
- 雑誌名 : 臨床放射線
 題名 : 外国文献紹介: MR スペクトロスコピーを用いた中心部壊死を伴わない脳実質内腫瘍における高レベル脂質の検出—悪性リンパ腫の特徴について
 著者 : 瀬戸一彦
 巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 597、2016
- 雑誌名 : 臨床放射線
 題名 : 外国文献紹介: パーキンソン病患者の視床下部への脳深部刺激前に最適な電極位置を求めるために行う術中 MRI について
 著者 : 瀬戸一彦
 巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 647、2016
- 雑誌名 : 臨床放射線
 題名 : 外国文献紹介: 前方椎体切除術後にタンタル製椎体間固定ケージを用いた椎体癒合術を行った症例にみられる MRI 画像上のアーチファクトについて
 著者 : 瀬戸一彦
 巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 875、2016
- 雑誌名 : 臨床放射線
 題名 : 外国文献紹介: 未破裂動脈瘤に対する手術後に生ずる硬膜下水腫や慢性硬膜下血腫—危険因子としての年齢、性別、動脈瘤の位置に関する検討
 著者 : 瀬戸一彦
 巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 1011、2016

- 雑題 誌 名 : 臨床放射線
名 : 外国文献紹介：脊柱側彎症の人は側彎症でない人と比べて顕微鏡的ヘルニア摘出術後に腰部椎間板ヘルニアが再発するリスクが高い可能性がある
- 著者 : 瀬戸一彦
巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 1095、2016
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線
名 : 外国文献紹介：小児の心停止症例にみられる全体的および局所的な脳血流の変動と MRI 画像の所見について
- 著者 : 瀬戸一彦
巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 1207、2016
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線
名 : 外国文献紹介：特発性脊髄髄液静脈瘻の存在を確認する目的で実施したデジタル・サブトラクション・ミエログラフィーについて
- 著者 : 瀬戸一彦
巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 1640、2016
- 雑題 誌 名 : 臨床放射線
名 : 外国文献紹介：小児の脳動静脈奇形の再発を見つけるための画像検査について
- 著者 : 瀬戸一彦
巻、ページ、年度 : Vol. 61、p. 1741、2016